

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公開番号】特開2014-205277(P2014-205277A)

【公開日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2013-83371(P2013-83371)

【国際特許分類】

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

C 0 3 C 17/32 (2006.01)

E 0 6 B 3/70 (2006.01)

B 3 2 B 15/04 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 9/00 A

C 0 3 C 17/32 C

C 0 3 C 17/32 A

C 0 3 C 17/32 B

E 0 6 B 3/70 D

B 3 2 B 15/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明フィルム基材上に、赤外線反射層および透明保護層をこの順に備える赤外線反射フィルムであって、可視光透過率が65%以上であり、遮蔽係数が0.60未満であり、前記透明保護層側から測定した修正放射率が0.20以下であり、

前記赤外線反射層は、前記透明フィルム基材側から、第一金属酸化物層、銀を主成分とする銀合金からなる金属層、および第二金属酸化物層を備え、

前記第一金属酸化物層および前記第二金属酸化物層のそれぞれは、前記金属層に直接接しており、

前記透明保護層は有機物からなり、

前記透明フィルム基材と前記赤外線反射層との間、および前記赤外線反射層と前記透明保護層との間には、いずれも金属層を有していない、赤外線反射フィルム。

【請求項2】

前記金属層が、パラジウムを0.1重量%以上含有する、請求項1に記載の赤外線反射フィルム。

【請求項3】

前記第一金属酸化物層および前記第二金属酸化物層のそれぞれが、酸化亜鉛を含有する非晶質の複合金属酸化物層である、請求項1または2に記載の赤外線反射フィルム。

【請求項4】

前記第一金属酸化物層および前記第二金属酸化物層のそれぞれが、インジウム・亜鉛複合酸化物、亜鉛・錫複合酸化物、およびインジウム・錫・亜鉛複合酸化物からなる群から選択される複合金属酸化物層である、請求項1~3のいずれか1項に記載の赤外線反射フ

イルム。

【請求項 5】

50 の 5 重量 % 塩化ナトリウム水溶液に 5 日間浸漬後の放射率の変化が 0.05 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の赤外線反射フィルム。

【請求項 6】

前記透明保護層がウェットコーティングにより形成された有機物層である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の赤外線反射フィルム。